

2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月5日

上場会社名 株式会社 サンゲツ 上場取引所 東 名
 コード番号 8130 URL <https://www.sangetsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 安田 正介
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 助川 達夫 TEL 052-564-3333
 四半期報告書提出予定日 2019年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	117,818	2.0	4,134	△9.4	4,812	△6.0	3,280	△2.2
2018年3月期第3四半期	115,537	17.2	4,565	△12.2	5,120	△11.7	3,356	△27.8

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 2,609百万円 (△38.8%) 2018年3月期第3四半期 4,282百万円 (△30.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	52.25	52.14
2018年3月期第3四半期	50.97	50.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	166,929	101,182	60.0
2018年3月期	171,419	106,360	61.4

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 100,161百万円 2018年3月期 105,242百万円

(注) 2019年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2018年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	27.50	—	28.00	55.50
2019年3月期	—	28.00	—		
2019年3月期（予想）				28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	164,000	4.9	6,000	19.2	6,600	15.8	4,600	1.9	72.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	63,850,000株	2018年3月期	66,050,000株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	1,964,432株	2018年3月期	2,217,212株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	62,791,642株	2018年3月期3Q	65,844,015株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2018年4月1日～12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益が改善し、緩やかな回復基調で推移しました。一方、世界経済においては、通商問題や地政学的リスクの高まりにより株式市場が大きく変動し、かつ実体経済にも影響を及ぼしつつあり、これらの要因が今後金融市場や産業に及ぼす影響については、引き続き留意する必要があります。

当社事業に関連の深い建設市場においては、非住宅分野ではホテル等の宿泊施設や首都圏を中心とした事務所等の建築需要が引き続き拡大したものの、医療・介護関連施設では縮小が続いております。また、住宅分野では新築住宅着工戸数が貸家を中心に減少傾向となり、市場全体としては弱含みで推移しました。さらに、原材料価格や物流コストの高騰など、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画(2017-2019)「PLG 2019」に基づく成長戦略を着実に実行しました。原材料価格や物流コストの高騰に対応し、顧客サービスの維持・向上をはかるため、自社配送体制の強化や商品価格の改定を行ったほか、新たな基幹システムを稼働開始するなど、経営基盤の強化に努めました。また、2017年12月に買収したGoodrich Global Holdings Pte., Ltd.の業績が連結対象となったことにより、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高117,818百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益4,134百万円(同9.4%減)、経常利益4,812百万円(同6.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,280百万円(同2.2%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(インテリア事業)

壁装事業では、インバウンド需要や首都圏を中心とする都市再開発需要の増加を背景に、非住宅向けの不燃認定壁紙見本帳「FAITH」の売上が堅調に推移しました。また、オフィス市場を中心に、フィルム営業部による商品特化型の営業活動が奏功し、粘着剤付化粧フィルム「リアテック」の売上也伸びました。一方、住宅市場においては、6月に発売した主要見本帳「リザーブ1000」とリフォーム向け見本帳「リフォームセレクション」の市場浸透が遅れたことに加え、新築住宅着工戸数の伸び悩みが影響し、壁装材の売上高は42,251百万円(前年同期比2.0%減)となりました。

床材事業では、オフィス・ホテル市場を中心に、繊維系床材カーペットタイルの売上が堅調に推移しました。10月には新見本帳「カーペットタイルDT/NT」を発刊し、全国で新作展示会や施工講習会の開催など、より一層の販促活動に注力しました。また、商業施設や賃貸住宅等において、床用塩ビタイルの売上が継続して増加しました。これらの結果、床材の売上高は31,455百万円(同0.5%増)となりました。

ファブリック事業では、住宅向けカーテン見本帳「STRINGS」、ワンプライスによる選びやすさを追求したカーテン見本帳「Simple Order」が売上が牽引しました。壁紙とファブリックを同一コンセプトでデザインした「Hampshire Gardens -EDA-」では、異業種とのコラボレーション企画を実施するなど積極的な販促活動を行い、新たな顧客獲得に努めました。また、カーテン専門販売会社「サンゲツヴォーナ」による営業活動が奏功した結果、カーテンと椅子生地をあわせたファブリックの売上高は6,148百万円(同8.4%増)となりました。

これらのほか、施工費や接着剤などを含むその他の売上7,900百万円(同11.1%減)を加え、インテリア事業における売上高は87,756百万円(同1.4%減)、営業利益は4,321百万円(同3.2%減)となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業を担う株式会社サングリーンにおいては、前四半期間に発生した台風等の自然災害の復旧に向けた工事が増加し、「フェンス」「カーポート」などのアルミ商材の売上が大きく伸長したほか、「物置」の受注が増加しました。また、一部商材において仕入メーカーの価格改定が市場に浸透したことが売上に貢献しました。さらに、公共物件においては、安全性への意識の高まりから、既存ブロック塀の補強工事及びフェンスへの切り替え需要が増加しました。これらの結果、エクステリア事業における売上高は11,769百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益は399百万円(同11.6%増)となりました。

(照明器具事業)

照明器具事業を担う山田照明株式会社では、得意とする特注品分野において、インバウンドやオリンピック需要増加に伴うコントラクト市場の好調を背景に、ホテル・宿泊施設で売上が伸長しました。また、サンゲツのコントラクト営業部との連携促進のほか、スペック活動を担う営業開発担当者を増員し、営業体制の強化に努めました。この結果、売上高は2,923百万円(前年同期比12.6%増)、営業利益は5百万円(前年同期は営業損失123百万円)となりました。

(海外事業)

北米市場を担うKoroseal Interior Products Holdings, Inc.においては、ホテル市場を中心にデジタルプリントが売上に貢献しました。また、9月より新たに欧州の壁紙メーカー「VESCO」の北米販売権を取得し、商品力の強化に取り組みました。中国市場を担う山月堂(上海)装飾有限公司においては、レジデンシャル分野では壁装材の売上が、医療・福祉や商業分野では床材の売上が継続して増加しました。また、11月にはサンゲツブランドの浸透に向けて上海ショールームを開設しました。東南アジア市場を担うGoodrich Global Holdings Pte., Ltd.においては、営業拠点を山月堂(上海)装飾有限公司と統合することで、サンゲツグループでのシナジー効果を高める仕組みづくりを進めました。一方で、Koroseal Interior Products Holdings, Inc.において販売費及び一般管理費が増加しており、海外事業の売上高は15,659百万円(前年同期比21.5%増)、営業損失は600百万円(前年同期は営業損失32百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に比べて4,489百万円減少し、166,929百万円となりました。また純資産は、前期末に比べて5,177百万円減少して101,182百万円となり、自己資本比率は60.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月11日発表のとおりで変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,482	24,319
受取手形及び売掛金	38,289	35,515
電子記録債権	11,516	12,583
有価証券	2,003	300
商品及び製品	14,330	15,466
仕掛品	215	289
原材料及び貯蔵品	2,750	2,499
その他	3,827	2,416
貸倒引当金	△461	△457
流動資産合計	94,955	92,933
固定資産		
有形固定資産		
土地	19,360	19,322
その他(純額)	17,567	16,774
有形固定資産合計	36,928	36,097
無形固定資産		
のれん	6,135	4,949
商標権	5,980	6,009
その他	7,623	7,546
無形固定資産合計	19,739	18,506
投資その他の資産		
投資有価証券	11,662	11,825
繰延税金資産	3,742	3,833
その他	4,473	3,804
貸倒引当金	△82	△71
投資その他の資産合計	19,796	19,392
固定資産合計	76,463	73,995
資産合計	171,419	166,929

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,391	13,523
電子記録債務	9,690	10,635
短期借入金	547	1,101
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	963	589
賞与引当金	1,249	748
役員賞与引当金	25	20
製品保証引当金	753	742
資産除去債務	—	68
その他	6,155	6,478
流動負債合計	34,275	34,408
固定負債		
長期借入金	17,404	18,927
繰延税金負債	2,990	2,890
役員退職慰労引当金	109	115
退職給付に係る負債	7,724	7,664
資産除去債務	631	625
長期未払金	125	2
その他	1,796	1,113
固定負債合計	30,783	31,337
負債合計	65,058	65,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,000
利益剰余金	73,967	69,042
自己株式	△4,577	△4,153
株主資本合計	103,012	98,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,768	2,039
繰延ヘッジ損益	100	48
為替換算調整勘定	843	863
退職給付に係る調整累計額	△1,482	△1,295
その他の包括利益累計額合計	2,229	1,656
新株予約権	84	84
非支配株主持分	1,033	936
純資産合計	106,360	101,182
負債純資産合計	171,419	166,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	115,537	117,818
売上原価	79,962	80,659
売上総利益	35,574	37,159
販売費及び一般管理費	31,009	33,024
営業利益	4,565	4,134
営業外収益		
受取利息	20	23
受取配当金	150	128
不動産賃貸料	4	5
持分法による投資利益	324	313
その他	132	304
営業外収益合計	631	776
営業外費用		
支払利息	43	67
手形売却損	2	2
自己株式取得費用	9	7
その他	20	20
営業外費用合計	76	98
経常利益	5,120	4,812
特別利益		
固定資産売却益	10	11
投資有価証券売却益	0	4
その他	0	0
特別利益合計	11	16
特別損失		
固定資産売却損	3	13
固定資産除却損	11	28
減損損失	—	35
その他	—	29
特別損失合計	14	107
税金等調整前四半期純利益	5,118	4,721
法人税、住民税及び事業税	1,797	1,628
法人税等調整額	△35	△110
法人税等合計	1,762	1,518
四半期純利益	3,356	3,202
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	△78
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,356	3,280

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	3,356	3,202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,158	△726
繰延ヘッジ損益	△3	△52
為替換算調整勘定	△464	5
退職給付に係る調整額	229	190
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△10
その他の包括利益合計	926	△592
四半期包括利益	4,282	2,609
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,282	2,689
非支配株主に係る包括利益	—	△79

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	海外事業	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	88,750	11,302	2,596	12,887	—	115,537
セグメント間の内部 売上高又は振替高	224	—	—	—	△224	—
計	88,974	11,302	2,596	12,887	△224	115,537
セグメント利益又は 損失(△)	4,463	358	△123	△32	△100	4,565

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	インテリア 事業	エクステリ ア事業	照明器具 事業	海外事業	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	87,469	11,766	2,923	15,659	—	117,818
セグメント間の内部 売上高又は振替高	286	3	—	—	△290	—
計	87,756	11,769	2,923	15,659	△290	117,818
セグメント利益又は 損失(△)	4,321	399	5	△600	7	4,134

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得及び消却)

当社は、2019年2月5日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式の取得に係る事項について決議するとともに、同法第178条の規定に基づき自己株式を消却することを決議しました。

1. 自己株式の取得及び消却を行う理由

中期経営計画(2017-2019)「PLG 2019」における資本政策に基づき、資本効率の向上と株主還元拡大を図るため、自己株式の取得及び消却を行うものであります。

2. 自己株式の取得の内容

- | | |
|--------------|---|
| (1)取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2)取得する株式の総数 | 1,000,000株(上限)
(2019年1月31日時点の発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 1.62%) |
| (3)株式取得価額の総額 | 2,000百万円(上限) |
| (4)取得期間 | 2019年2月6日から2019年6月21日まで |
| (5)取得方法 | 証券会社の投資一任方式による買付 |

3. 自己株式の消却の内容

- | | |
|----------------|-------------------------------------|
| (1)消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2)消却する株式の総数 | 1,000,000株(消却前の発行済株式総数に対する割合 1.56%) |
| (3)消却予定日 | 2019年2月28日 |
| (4)消却後の発行済株式総数 | 62,850,000株 |